

東大和四季を感じる名所巡り～戦災遺跡・野火止用水～

コース概要 ● 約 6.3km 約 9,000 歩 所要時間：約 95 分 消費カロリー：約 285kcal

戦災遺跡の変電所から野火止用水へ
東大和の南をひと回り
春は桜・夏は緑・秋にはいちょう
四季それぞれの魅力にふれる名所巡りコース



① いちょう通り

新青梅街道から桜街道までの 1.1 km ほどの市道で、街路樹として「イチョウ」が植えられ、昭和 56 (1981) 年にこの愛称がつけられました。

車道の両側に歩道が整備され、通り沿いには商業施設や飲食店、公園、市民農園、都立東大和高校などがあり、秋には黄葉したイチョウを眺めながらの散策が楽しめます。

A 旧日立航空機株式会社変電所 (→P.2 をご参照ください)

② 都立東大和南公園

昭和 61 (1986) 年、市南西部の米軍大和基地跡の一部を整備して造られました。野球場、8 面のテニスコート、市民体育館、市民プールがあるほか、近くには桜が丘市民広場などがあり、スポーツが楽しめます。



約 10 ヘクタールの広さをもつ公園内には、水遊びも楽しめる (時期により) 水のせせらぎの場やじゃぶじゃぶ池があり、およそ 150 種類もの花樹類も季節ごとに目を楽しませてくれます。

また、東側の歩道は広く整備され、明るくゆったりした雰囲気をつくり出しています。

公園内の一角には、東大和市の指定文化財である戦災遺跡・旧日立航空機株式会社立川工場の変電所が残されています。



③ 桜街道

旧青梅街道は、かつて江戸街道とよばれた美しい桜並木になっていました。この見事な桜並木は、昭和 20 (1945) 年 4 月 24 日の空襲で付近がほとんど壊滅状態になり、大部分がなくなってしまいました。

市では、桜並木を復活させるため、この道路の街路樹に桜を植え、道路の愛称も「桜街道」としました。

④ 青梅橋跡 (市指定文化財) (→P.25 をご参照ください)

B 野火止用水ホテルの里 (→P.4 をご参照ください)

⑤ 健康遊具 (向原中央公園)

市では、市内の五つの公園に健康遊具を複数設置しています。特に向原中央公園には 6 種類の健康器具を配した「健康の森」という複合健康スペースが設けられていて、木々に囲まれた遊歩道をひと回りすれば、途中途中のステーションでさまざまな運動を楽しむことができます。ぜひチャレンジしてみてください。



⑥ 東大和市民会館ハミングホール

平成 13 (2001) 年開館の東大和市民会館ハミングホールは、音楽を主体とした本格的な舞台芸術に適した大ホールと、多種多様な芸術文化活動が可能な小ホールを持ち、市の文化振興・市民交流の象徴的施設になっています。

また、ホール前のハミングロードは、無電柱化が進められ、街路樹としてハナミズキが植えられ、景観への配慮がなされています。



東大和市駅前広場

コラボ

青梅街道と桜街道が交差する場所に東大和市の南の玄関口ともいえるべき、東大和市駅があります。昭和 25 (1950) 年に「青梅橋駅」として誕生し、昭和 54 (1979) 年に現在の「東大和市駅」となりました。

駅前広場は平成元 (1989) 年に完成し、多摩湖と取水塔を模した噴水やトイレやカリヨン (洋鐘)、植栽、レンガ貼りの歩道などモダンな趣で、訪れる人をお迎えます。

